

●木津川市のいずみホールで地域説明会が14日（日）に開かれました

建物は市役所から南方200mで国道163号線から少し北へ入った住宅街にあります。コロナウイルス感染防止のためか日曜日の活動が控えられていて静かな展示会になりました。この日は午後から青年海外協力隊として13年間参加されていた「戸田裕子さん」の経験談をたっぷりとお聞きすることができました。何よりもネパールはヒマラヤで知られていますが、南はインド、北は中国に挟まれた国なので現在は両国へ通じる道路が4本作られて通過地とされて都市化されている以外は高い山の国で100近くの民族がそれぞれに集まって暮らしているとのことでした。

産業は殆どなく、自給自足で戸籍も定かでなく、教育も制度としては体制が弱くて文化というほどのものもないということでした。多くの男性は海外に行き、村では女性が主力として働いているようでした。日本と比べて相当時代の開きがあると思いました。機会があればこうした国々では自然とともに暮らしている人々がおられることを知り、もっともっと深く広く世界を知ることが必要だと感じました。こうした機会を設ける必要性を再認識させられた良いお話でした。



●炭窯開きを2月13日土曜日に行いました

去年は2回の炭焼き体験を実行して、2回目は着火して焼きあがった後、炭を取り出さなくてそのままにするという措置をとりました。今までも炭を出してしまうと窯が空っぽで次の使用まで不用心となり管理に手間がかかるので、この手順で窯を守ってこられたそうなのです。昔の人の知恵です。今年窯を開けてみると燃料として利用できる物は24箱分96kgでした。これまでベテランさんが上手に焼くと260kgが最低生産されたそうです。1500kgの原木をしっかりと詰め込んだ場合300kgの炭が出来上がったと言われています。今回は酸素の遮断が遅れたのか、着火時の炊き過ぎなのかいろいろ原因が考えられます。原木の性質に問題があったのかもしれませんが。大いに考え、次回に生かして経験を積み重ねなければと思います。

今年の着火は2月23日に予定をしております。窯詰はしっかりと原木を詰め込みましたので去年の経験を生かして燃やしすぎないように、気を付けながら管理したいと思います。着火と遮断に多くの皆様のご参加をお願いします。

●京都府交響プロジェクト参考資料紹介 三種類

4月から京都府交響プロジェクトの事業を行ってきましたが、そのうち里山農園を活用した場合、中聖牛の製作、および竹蛇籠の製作にかかわって参考資料の利用が計画されていました。いずれも不十分な作品でもありましたのでさらに作品を充実させるために改善を進めてきました。まだまだ不十分なところも多々あり改良すべきと思いますが、期末でもありますのでこの辺りで一区切りしてまとめとしておきたいと思います。ご覧になって改善点をお気づきになられましたら遠慮なく事務局にご提案をお願いします。さらに皆様からの要望で一層いいものに仕上げたいと考えています。

●井手町におけるイタセンパラの会3月13日に延期

1月末に井手町でのイタセンパラ復活を目指す会議を2月23日と予定をしていましたが、コロナウイルス感染防止のため緊急宣言が出され、さらに延長となりました。準備も遅れていましたので、この際開催を3月13日に延期させていただきます。多くの皆様にご連絡させていただきましたが、諸般の事情ですのであしからずご了承お願い申し上げます。

●新年度の活動方向について議論深める

2020年度の交響プロジェクト事業では里山農園を利用したフィールドとして、野菜栽培、炭焼き体験、ホタルのタベ、七草の取組、野草を食する会、昆虫観察会、普賢寺総学校への支援などを取り組みました。また中聖牛設置や竹蛇籠製作講習会、親子で遊ぼう学ぼう魚とり、カヌー体験、京都子どもの水辺などを取り組みました。そして近畿建設協会からの支援や国交省淀川河川事務所からの業務委託の木津川希少種調査管理業務、京都大学防災研究所からの業務委託などを受け取り、ヤマトサンショウウオの調査観察研究、オオムラサキの調査観察研究、トヨタ環境部からのイタセンパラ復活を目指す交付金事業を行ってきました。これらの取組について次年度2021年度も引き続き調査研究、また業務受注を申請していくのかについて積極的な検討を提案しました。経過からして2020年度も継続していくべきであるのが常識と考えられますが、理事長 深田様、常務理事 山村が脳梗塞発症と言う経過があり、かなり戦力のダウンが予想されます。これまで通りの展開は無理ではないかとも考えられるので、一層慎重な検討を要すると思われます。会員社員皆様のご意見をお寄せいただければありがたいです。(●新年度のイベントについて●新年度の研究活動について●新年度の業務活動について)

●ヤマトサンショウウオ今年は上の池で2対下の池で7対の卵囊が見つかる

先週の863号でお知らせしましたが、今週も上の池で2対下の池で7対の卵囊が発見されました。特に桜谷先生の助言をいただき、杉の葉っぱが良いとありましたので池に浮かべておいたところ予想通り写真のように産み付けられておりました。今後さらに産卵の可能性が考えられますので注意したいと思います



●里山農園でノスリを撮影

2月16日の農園作業日に北側の高木に静止しているノスリを発見しました。農園全体を視野に入れて、かなり長い間静止していました。獲物を見つけたのか取り逃がしたのか何回も同じ枝に帰ってきていました。



●農園でもニホンアカガエルの卵塊発見



農園の池でニホンアカガエルの生息が確認されていましたが、16日に3個の卵塊が発見されました。この池ではトノサマガエルも見つかっており、とても自然豊かな場所であると思われますね。この自然を大切に守っていききたいものです。